

補助金等調査表（チェックシート）

（2）補助金見直しの基本視点に基づく評価

（※具体的な根拠指標には、設問に対する評価根拠となる、成果等を示す数値的な指標を記載すること）

公益性	補助事業が、客観的に見て、より広く市民等に利益をもたらす、または還元されている。	評価 特定の個人又は集団に利益をもたらす	評価の理由・具体的な根拠指標 行動障がいや独居の身体障がい者等、在宅での生活が困難な障がい者に関し、住み慣れた地域で安定した生活の実現が図られるとともに、同居家族の負担軽減や適切な支援機関への繋がりに資するものである。
	補助事業の目的が、時代や社会情勢に合っている。	評価 ほとんど合っている	評価の理由・具体的な根拠指標 障がい者が地域での生活を安定的に送るために、在宅での緊急事態に対応する社会資源が乏しいため、必要なサービスとなっている。
必要性	補助金を交付する形で、市が関与する妥当性がある。	評価 ある	「ある」→妥当性について記入。 「ない」→妥当性がないにも関わらず補助する理由を記入。 民間事業者において、毎日365日、緊急時に備えた人員体制を整備することは困難であり、そうした人員体制の確保について市が補助を行うことには妥当性がある。
	補助金がない場合、団体等は自主財源で事業を行うことができない。	評価 できない	「できる」→自主財源で事業実施可能にも関わらず補助する理由を記入。 「できない」→補助金がなければ事業を実施できない理由・具体的根拠を記入 1回の出勤にあたり利用料は発生するが、職員の待機時間も含め、24時間365日、緊急時の出勤に備えた安定した人員体制を確保するためには、人件費等の補助が不可欠である。
	市民ニーズが高いものである。	評価 高い	評価の理由・具体的な根拠指標 障がい福祉計画策定におけるアンケート調査等からも、在宅生活における緊急時の支援について必要との声が、多く聞かれている。
	市民ニーズに即している。	評価 即している	評価の理由・具体的な根拠指標 現状少ない利用者数ではあるが、必要としている市民のニーズに即した事業である。
	補助金の意義について、的確に説明できる。	評価 できる	「できる」→誰に対しどのような効果があるか等について記入。 「できない」→説明できない理由について記入。 少ない利用者数ではあるが、重度障がい者が安定した地域生活を営むには必要不可欠の事業であり、その体制整備のための補助を行うことは十分妥当性がある。
	補助期限（終期）を設定している。	評価 未設定	「設定済」→設定年度とその根拠を記入。 「未設定」→設定しない理由と今後の見通しを記入。 少ない利用者数ではあるが、重度障がい者が安定した地域生活を営むには必要不可欠の事業である。また、令和2年度より、東野地区に緊急時支援の機能を持ち合わせた地域生活支援拠点を整備したため、今後、より市民のニーズに即した形での事業展開が必要と認識している。
	補助金申請に係る積算根拠が明確である。	評価 はい	「はい」→積算根拠を何で確認しているかを記入。 「いいえ」→積算根拠が不明確である理由と今後の見通しを記入。 人件費並びに必要な経費

補助金等調査表（チェックシート）

施策との整合性	当該補助金は、市の政策目的や施策と整合している。	評価	「している」→どのような点で整合しているのか記入。 「していない」→整合していないにも関わらず補助する理由を記入。
		している	障がいのある方の自立生活の促進、地域における安定した生活の実現につながる。
施策との整合性	補助事業が本市の特性を生かした取り組みである。	評価	「はい」→どのような点で特性を生かしているのか記入。
		はい	本市には入所施設がなく、在宅生活を送る重度障がい者の支援を行う仕組みが必要であることから、特性を生かした取り組みとなっている。
公平性	事業を実施できる団体が他にない。（複数存在する場合、当該補助金がその事業者にだけ交付される合理的な理由がある。）	評価	「はい」を選んだ理由
		いいえ	「いいえ」の場合、補助金がその事業者にだけ交付される合理的理由を記入。 本事業は、地域生活支援拠点の中核を担い、様々な障がい特性に精通した障がい福祉サービス事業者が担う必要があり、かつ、24時間365日、人員体制を確保することが必須であるが、そうした点で対応できる事業者は当該事業者しかいなかったため。
	評価	「設定済」→補助率とその根拠を記入。 「未設定」→設定しない理由と今後の見通しを記入。	
	未設定	市独自の事業を実施であるとともに、人件費等が高騰している中、現時点において事業者負担を求めるとは難しいと考えている。	
効率性	補助目的に見合った成果や、施策実現に向けた効果がある。	効果の測定方法・具体的な根拠指標 登録利用者数、出勤回数、内容等	
		評価	評価理由
		ある程度の効果をあげている	少数ではあるものの、重度障がい者が安定した地域生活を営むことができているため。
	手法として、委託等の手法よりも、補助金を交付することがより合理的である。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
	はい	事業の性質上、人員体制確保（人件費）が実施事業者にとって大きな課題であり、主要な補助対象経費となることから、現状では補助金交付が合理的であると考える。	
国や県、本市において同様の補助事業がない。（※国県要綱に対し、上乘せ・横出しする補助事業は除く）	評価	「ある」の場合、同様な補助事業と両方存続させる理由を記入。	
	ない		
補助対象経費の明確化	補助金対象内外経費が明らかになっているか。	評価	「はい」→何で確認をしているか記入。 「いいえ」→明確にしていない理由を記入。
		はい	収支決算書にて確認。
	補助対象外経費を補助対象としていない。（対象としている場合は、明確な根拠を持っている。）	評価	「対象としている」の場合、費目及びその根拠規定と対象となる考え方を記入。（※費目とは、飲食費や慶弔費など）
	対象としていない		

補助金等調査表（チェックシート）

※以下の項目は、団体補助金のみ記述。

団体補助金	団体の設置および活動目的が、補助事業からみて整合しているか。また、団体としての活動実態があるか。	評価	評価の理由
		はい	事業者は社会福祉法人であり、障がい福祉に精通した、実績のある団体である。
	補助事業の内容と成果について、交付団体においても対外的に情報公開を実施しているか。	評価	「はい」→情報公開の手法等について具体的に記入。 「いいえ」→実施できない理由と今後の見通しを記入。
		はい	社会福祉法人は、情報公開が義務付けられている。
	団体内で、補助金の用途や決算などの監査機能が有効に機能していて、透明性等をもって運営されているか。	評価	「はい」→どのような監査手法で実施しているか記入。 「いいえ」→機能していない理由と今後の見通しを記入。
		はい	社会福祉法人は、社会福祉法に基づき、所轄庁による指導監査が定期的実施されることで、運営実態の確認及び適正な法人運営のチェック体制が確立されている。
補助金交付団体の自立性を促すことなどから、運営補助から事業補助へ移行を図っているか。	評価	「運営補助」の場合、事業補助に移行できない理由と今後の見通しを記入。 ※混合補助で実施している場合は、割合が大きい方を選択してください。	
	事業補助	当該補助金は、「事業補助」となっている。	
市職員が補助金交付団体の事務を行っているか。（行っている場合は合理的な理由があるか。）	評価	「行っている」の場合、合理的な理由を記入。	
	行っていない		
繰越金	交付団体の補助事業会計において、補助金額以上の繰越金を計上している。 （※複数団体ある場合は、各団体を一覧化したものを別紙にて提出のこと）	評価	具体的な根拠指標
		いいえ	直近決算額における補助金額 _____ 円 繰越金額 _____ 円 <ul style="list-style-type: none"> { うち補助事業会計分 _____ 円 うち団体独自会計分 _____ 円
		繰越金額が生じた具体的な原因について記入。	
上記設問において、「はい」の場合、補助金の減額ないし、休止などの必要な対策を考えている。	評価	「はい」→具体的な対応策について記入。 「いいえ」→対応できない理由について記入。	

補助金等調査表（チェックシート）

（3） 国県要綱・近隣市補助金との比較を通じた評価

補助創設から平成28年度までは、地域生活支援事業費等国補助金（1/2）及び地域生活支援事業費等県補助金（1/4）の対象となっていたが、平成29年度から対象外となっている。
近隣市は同様の事業を行っていない。

（4） 補助金の課題

緊急時に対応できる体制整備のための補助であり、成果として実績数だけでは測れない性質のものである。
今後も、ニーズの把握と事業課題の精査を継続的に行う必要性を認識している。

（5） 所属長の総合評価

重度障がい者が安全に自立した日常生活を送るためには必要な補助であり、今後も事業者へ適切に補助金を交付していきたいと考えます。

（6） 補助金の今後の方向性

<input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続
<input type="checkbox"/> 見直しをしたうえで継続
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> その他

その他の内容

現行継続の理由	引き続き、障がい者が安全に自立した日常生活を送ることができるようにするために補助は継続する。
---------	--

見直しの時期	
見直しの内容	

廃止の時期	
廃止の理由	